㈦	建物	鹿児島県熊毛郡	送信棟	5,447,942	0	0
㈧	建物	秋田県能代市	試験用施設	858,160	0	0
㈨	ソフトウェア	埼玉県比企郡	ソフトウェア	103,153,968	103,153,967	0
(x)	工具器具備品	茨城県つくば市	通信設備	16,922,972	16,922,966	0
(xi)	建物	神奈川県相模原市	電源設備	28,287	28,286	0
(xii)	建物	茨城県つくば市	通信設備	814,000	813,999	0
(xiii)	建設仮勘定	千葉県松戸市	フェンス	910,551	910,550	0
(xiv)	建物	鹿児島県肝属郡	受電室	31,670,633	0	0
(xv)	土地	千葉県松戸市	職員宿舎用地	510,200,000	0	0
			合　計	680,955,666	125,610,229	61,428

※１：損益計算書に計上される減損損失
※２：行政コスト計算書に計上される減損損失相当額

②　減損の認識に至った経緯

上記資産(i)～㈥について、固定資産の全部につき、当事業年度に使用しないという決定を行ったため、減損を認識しております。

上記資産㈦～(xiii)について、使用されている範囲又は方法に関し、当該資産の使用可能性を著しく低下させる変化が生じており、その全部（又は一部）の使用が想定されていないため、減損を認識しております。

上記資産(xiv)について、当事業年度に用途変更を行ったため、減損を認識しております。

上記資産(xv)について、固定資産の全部につき、前事業年度以前に使用しないという決定を行ったため、減損を認識しております。

③　回収可能サービス価額

上記資産(i)～(v)および㈨～(xiii)について、売却見込がないため使用価値相当額により回収可能サービス価額を算定しております。その全部につき今後の使用が想定されていないため、備忘価額１円まで帳簿価額を減額しております。

上記資産㈥～㈧および(xiv)について、売却見込がないため使用価値相当額により回収可能サービス価額を算定しております。使用価値相当額は、当該資産の帳簿価額に建設工事費デフレーターと当該資産につき「使用が想定されていない部分」以外の部分の割合を乗じて算出した価額を用いて算定しておりますが、算定額が帳簿価額を上回っていたため、減損額は生じておりません。

上記資産(xv)について、正味売却価額により回収可能サービス価額を算定しております。当該土地に係る地価公示価格相当額で時価評価したところ、回収可能サービス価額が帳簿価額を上回っていたため、減損額は生じておりません。

⑵　減損の兆候

①　減損の兆候がある固定資産の概要

（単位：円）

番号	種　類	場　所	用　途	帳簿価額
(i)	建物	茨城県つくば市	職員宿舎	7,955,491
(ii)	建物	茨城県つくば市	職員宿舎	50,864,232
(iii)	建物	茨城県牛久市	職員宿舎	121,219,631
(iv)	建物	茨城県つくば市	職員宿舎	81,979
(v)	建物	茨城県つくば市	セキュリティ用扉	188,767
㈥	建設仮勘定	東京都調布市	研究用部品	276,638
㈦	建設仮勘定	東京都調布市	研究用部品	762,808
㈧	建設仮勘定	茨城県つくば市	照明器具	6,703,560
㈨	建設仮勘定	茨城県つくば市	空調管理装置改修工事設計業務	990,000
(x)	建設仮勘定	神奈川県相模原市	人工衛星部品	91,949,000
(xi)	建設仮勘定	茨城県つくば市	研究用部品	3,596,400
			合　計	284,588,506

②　認められた減損の兆候の概要

上記資産については、稼働率が著しく低下したため、減損の兆候が認められました。なお、設備としての機能を現に有しており今後の使用も見込まれることから減損を認識しておりません。

各資産の詳細は以下の通りです。

上記資産(i)～(iv)については、期末における入居率が50％未満となっていることから減損の兆候が認められました。本資産は職員宿舎としての機能は引き続き有しており、今後の使用も見込まれるものです。

上記資産(v)については、本資産を設置していたエリアのレイアウト変更により、稼働率が著しく低下したため、減損の兆候が認められました。本資産はセキュリティ用扉としての機能は引き続き有しており、今後の使用も見込まれるものです。

上記資産㈥～㈧については、研究計画が見直されたことにより減損の兆候が認められました。本資産は研究用部品としての機能は引き続き有しており、今後の使用も見込まれるものです。

上記資産㈧については、建屋への設置が延期していることから減損の兆候が認められました。本資産は照明器具としての機能は引き続き有しており、今後の使用も見込まれるものです。

上記資産㈨については、沖縄宇宙通信所における改修工事が延期していることから減損の兆候が認められました。改修工事は本設計に基づいて実施予定であることから、機能は引き続き有しており、今後の使用も見込まれるものです。

上記資産(x)については、ロシア天文学研究所の国際紫外線天文衛星計画に参画して開発しているものですが、国際情勢の影響により開発活動を停止しているため、減損の兆候が認められました。本資産は人工衛星部品としての機能は引き続き有しており、今後の使用も見込まれるものです。

上記資産(xi)については、環境制御・生命維持技術研究にかかる計画が見直されたことから減損の兆候が認められました。本資産は研究用部品としての機能は引き続き有しており、今後の使用も見込まれるものです。